

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
観光学演習 Tourism Skills		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(観光ビジネス実務士必修科目)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
観光ビジネス実務総論				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
観光ビジネス実務演習				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
伊藤優子	2階	水曜日・木曜日		授業中に指示します
授業の概要				
旅行業では、国内および海外の観光資源・観光地理の知識が必要となってくる。観光資源の知識は時間をかけて勉強する以外の近道はない。また観光資源や観光地理は仕事の現場で一番不可欠なものである。この授業では、海外の観光資源、観光地理の基本を学ぶものである。				
授業の目標				
①世界の地形、地勢の知識を習得できるようにする。 ②アジア、ヨーロッパ、アメリカ、オセアニア、アフリカ、それぞれの大陸の観光地理、観光資源を習得できるようにする。 ③世界各国の美術館、博物館、世界遺産を習得できるようにする。 ④世界各国のイベント、行事、料理などの項目も習得できるようにする。				
授業の方法				
アジア、ヨーロッパ、アメリカ、オセアニア、アフリカの順番で日本で海外渡航先として多く選ばれる国の観光資源について解説していく。全ての国の観光資源は教科書を使用して行うが、観光資源には文字だけでは理解しにくい点があるため、パワーポイントの写真や国によってはDVDなどビジュアル資料を利用し、学習を深める。				
学習の成果（学習成果）				
特にアジア、ヨーロッパ、アメリカを中心に観光資源、観光地理の基本的な知識を構築することができ、旅行業の現場で活用することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	海外旅行に置いて必要な海外資源の基礎（食事・名産品・美術館）			
第2回目	海外観光資源（台湾・韓国・香港・マカオ）			
第3回目	観光資源（東南アジア・インド）			
第4回目	観光資源（中国） 小テスト（アジア）			
第5回目	観光資源（北欧・ベルギー・オランダ）			
第6回目	観光資源（イギリス・スイス・ドイツ）			

第7回目	観光資源（フランス・スペイン）	
第8回目	観光資源（イタリア・ギリシャ）	
第9回目	観光資源（東欧・ロシア） 小テスト（ヨーロッパ）	
第10回目	観光資源（北米）	
第11回目	観光資源（ハワイ・カナダ） 小テスト（アメリカ）	
第12回目	観光資源（オセアニア）	
第13回目	観光資源（南米）	
第14回目	観光資源（トルコ・エジプト他）	
第15回目	観光資源（アフリカ諸国）	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	授業に積極的に参加し、ノートをとる。不明なことがあれば質問する。好奇心と興味を持って授業に臨んでいるか、その態度が評価の対象となる。S評価の基準：上記参加態度を全て満たすもの。
レポート		
調査報告書		
小テスト	30%	アジア（第4回目）・ヨーロッパ（第9回目）・アメリカ（第11回目）が終了したら、ミニテストを実施し、理解度を図る。S評価の基準：S=90-100
試験	50%	世界各国の観光地、観光資源の理解度を確認する。S評価の基準：S=90-100
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
海外観光資源（JTB総合研究所）		
履修上の留意点・ルール		
遅刻厳禁。私語は慎むこと。授業中の無断での退出厳禁。携帯電話の使用禁止。飲食厳禁。		